

# お知らせ

## バイオマスタウン利活用の取組み

5回目の市民懇談会は11月13日・14日の2日間、成東・蓮沼地区の2会場で開催しました。参加者はあわせて8人でした。

◇懇談会での質疑・応答の一  
部を紹介します。

【市民】サンブスギの家具の販売をネットなど使つて

もつと進めてみてはどうか、また経費はどれくらいかかったのですか。

【行政】被害木を有効活用した家具は、県と東京大学の協力で平成19年に製作されました。時間がない中で作つたということもあってあの机にはかなりの額がかかっています。何人が興味を示してくれた人もいましたが、実際ににはとても成り立つようないました。

【市民】ペレット化チップ化で森林再生したいがいかがですか。

【行政】ペレット化、チップ化する施設や会社が山武市内に無く、他地域から持つて来るには、時間とコストがかかりてしまします。これら施設の導入と会社誘致を進め

たいと思います。

【市民】伐採した後にどうい  
う森を造るのか方向性はどうなつていますか。

【行政】山を別の形にするには、資金の折り合いがつけば良いのですが、100%行政の補助に頼つていてはできません。商品として付加価値をつけて売るなど、きちんと採算ベースに乗るようなられるを作る。市として何ができるのか。市が補助金を出して工場を作るとかは不可能です。民活などが必要で、そのためには市として体制作り、土台作りに取り組むことが必要になります。

【市民】地方独立行政法人化(以下独立法化と略す)したらどうなるのか

【行政】地方独立行政法人法に基づき市が独立した法人格をもつ法人を設立し、市が直接運営するのではなく、組織運営、職員の採用などさまざまな権限を理事長に持たせ自立的で柔軟な運営を行ふことをねらいとしています。

【行政】行政が将来のあり方、町のあり方、住み方、暮らし方、介護も含めてどのように将来のあり方を考えていくか、まちづくりを進めていく

か、バイオマスタウン構想はその一部分です。どんな木を植えていくのか、どんな森を作つていくのか10年後どのくらいのものになつているのか、具体的な考えがあるのかと言わわれると、今の段階でそこまでの考えはありません。ただ、伐採を

したら植えていかなくてはならないので、それは考えなければならない問題です。

環境の面から、生産的な面から、多様な森のあり方があり、どのような森を作つていくのかはそれぞれの山の所有者の意向によります。市としてこう

かいうふうに作つていくのかいくつか提案できるようなかたちは必要かもしれないと思います。

(担当 バイオマス推進室)

### 第6回市民懇談会の報告

## 『成東病院の現状と経営改善』

平成20年度最終の市民懇談会は、1月15・16日の2日間、山武・松尾地区の2会場で「成東病院の現状と経営改善」をテーマに開催しました。参加者は2日間合わせて24人でした。

質疑・応答の一  
部を紹介します。

【市民】地方独立行政法人化(以下独立法化と略す)しただうなるのか

【行政】地方独立行政法人法に基づき市が独立した法人格をもつ法人を設立し、市が直接運営するのではなく、組織運営、職員の採用などさまざまな権限を理事長に持たせ自立的で柔軟な運営を行ふことをねらいとしています。

【行政】行政が将来のあり方、町のあり方、住み方、暮らし方、介護も含めてどのように将来のあり方を考えしていくか、まちづくりを進めていく

市に評議委員会を設置し業務評価・勧告・市長への評価

結果通知を行い、中期的に病院経営を評価することで病院を監督します。

市に評議委員会を設置し業務評価・勧告・市長への評価結果通知を行い、中期的に病院経営を評価することで病院を監督します。